



理念

高齢期の方々の尊厳を踏まえ、こころ温まる医療の提供と地域から愛される病院を目指します。

基本方針

- ① 認知症疾患の特性を踏まえ、個別性の高い医療と温かみのある療養の提供
- ② 認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- ③ 地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- ④ 働きがいのある職場づくり
- ⑤ 職員一人ひとりが自覚し、健全な病院運営への努力

患者様の権利に関する宣言

- ① 良質な医療を平等に受ける権利
- ② 選択および自己決定する権利
- ③ 意識のない患者様および法的能力のない患者様の権利
- ④ 十分な説明を受ける権利
- ⑤ 個人情報およびプライバシーを保護される権利
- ⑥ 個人の尊厳を守る権利
- ⑦ 通信・面会を自由に行う権利

INDEX

- 表紙 福井の名所探訪②
三国まつり(坂井市)
- P2 すこやか講座
「認知症予防の話」
- P3 家族は今
「義父の想い・家族の想い」
- P4 THE病棟
「入院患者様の1日の過ごし方」
- P5 デイケアだより
- P6 トピックス
福井大学寄附講座
外来医師診療体制
- P7 患者家族満足度調査結果
- P8 平成29年度研修案内



すこやか講座

認知症予防の話

作業療法士 下口 さゆり

最近、テレビや書物で、色々な認知症予防法が紹介されていますが、認知症状を呈する疾患は様々で、確固たる予防法がないのが現状です。しかし、症状を緩徐にしたり、発症しない研究が進められており、今回はそのうちの幾つかをご紹介します。イラスト：下口 さゆり

1 外傷(特に頭や足)に注意する。

事故での転倒や転落、スポーツ等での慢性的な打撲による外傷(骨折も含む)は認知機能低下や寝たきりのリスクを高めます。

老化にて運動機能や筋力などが低下します。ちょっとした段差につまづくなど、バランスを崩し転倒しないよう注意しましょう。



2 楽しみや役割を見つける。

理解や記憶の障害があっても、繰り返し習得した技や歌等、昔仕事や趣味にしていた活動は取り組み易いです。しかし、心身機能の変化もあるので、失敗体験で落ち込まないような工夫をしたり、新しい活動を取り入れましょう。



3 ちょっと間違える程度の課題をストレスにならないよう行う。

運動(ステップや手遊び等)と認知課題(計算、言葉想起等)を組み合わせたり、料理(レシピで新しい献立に挑戦、同時に複数の品を作る等)したり、複数の課題を同時に行う事で、脳の活性化を図ります。慣れてきたら、難易度を上げましょう。



4 人や社会と交流する。

社会関係の変化(退職や子供の独立)、人間関係の喪失(転居や死別)が生活への気力を失わせる原因ともなります。楽しい会話(聞いて話す)は脳の神経ネットワークを強化するとの報告もあります。新しい関係作りで、脳の活性化をしましょう。



家族は今...

「義父の想い・家族の想い」

K.Y

義父は今92歳。88歳で亡くなった義母とは65年連れ添った熟年夫婦でした。二人とも会社勤めといった勤務経験はなく冬期だけしばらく働いた程度です。結婚当初から田畑や山仕事、旅行するのも三度の食事は何をするにも二人一緒にのまさに空気のような存在だったと思います。

もともと短気で頑固な性格の義父が明らかにおかしくなったのは（おかしいという表現がいいかどうか分かりませんが）義母が亡くなったその直後からです。片時も離れず何時も隣にいたパートナーが自分だけを置いて逝ってしまったという現実をどう受け止め、どんな気持ちで見送ったのだろうか・・・想像すると胸が痛くなる思いがします。

しかし当時の私達家族には暴言、暴力に似た日々の言動は腹立たしく顔も見たくない、話したくない、一緒に食事もしたくなないと、ストレスと胃痛に悩まされる生活に変わっていきました。このままでは家族が病気になってしまうと、主人と包括センターへ相談に行き、一筋縄では「うん」と言わない義父の様子を伝え、どうにかすこやかシルバー病院に受診することができ、ようやく一安心といった心境でした。

最初はデイケアでお世話になり徐々に落ち着きを取り戻し、心をなで下ろす時間も増えていきました。しかし老人性難聴もあり去年の11月頃より今度は言ったことを誤解したり、被害妄想で急に怒り出したりと、私たちは義父に対してどう対応したら良いのか悩める日々でした。でも今は、すこやかシルバー病院に入院させていただき義父も私たち夫婦もようやく落ち着いてきたところです。

面会に行った時はいつも両手を挙げ「おー」といったひょうきんな笑顔の義父を見るとほっとさせられる時もあります。これもお世話をしてくださる病院の方々のおかげと一言では言い表せないほど感謝の気持ちでいっぱいです。手のかかる義父ですがこれからもよろしくお願いいたします。

今後は施設に入るようになるかどうかはまだ判りませんが、もしそうなれば義父を見ずることになるのではと申し訳ない気持ちもあり、今は複雑な気持ちです。

The 病棟



1日の過ごし方

今回は、入院されている患者様の1日の過ごし方についてご紹介したいと思います。

病棟では、看護師などの病棟スタッフが患者様の体調変化の有無などの観察を行い、認知症の程度や状況に応じたきめ細かな介助、対応を行っています。また、平日は作業療法士による生活機能回復訓練（体操・レクリエーション）が午前・午後と2回行われ、多くの患者様が歌などのプログラムに楽しく参加されています。患者様が適切な看護サービスのもとで穏やかな入院生活を送っていただけるよう、病棟スタッフ一同心掛けています。

※月曜日：内科診療、歯科衛生士による口腔ケア
※水曜日：歯科医師による診療
(他に月1回の皮膚科診療や散髪があります)

- 6:00 起床 
- 7:00 洗面・ひげそり
- 朝食・歯磨き
- 8:00 熱・脈・血圧測定
- 9:00
- 10:00 生活機能回復訓練(体操・レクリエーション等)
- 11:00 手洗いなど
- 12:00 昼食・歯磨き 
- 13:00
- 14:00 生活機能回復訓練(体操・レクリエーション等)
- 15:00 おやつ
- 16:00
- 17:00
- 18:00 夕食・歯磨き
- 19:00
- 20:00 就寝



口腔ケア

デイ・ケアだより

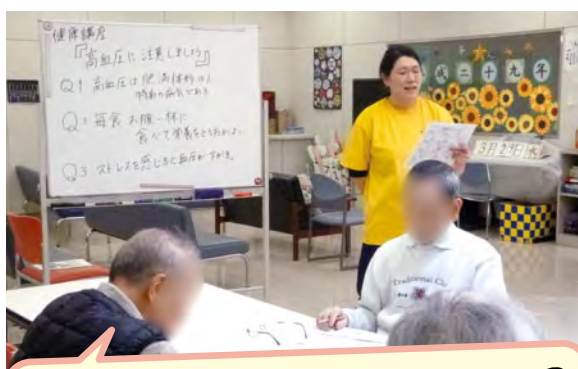


健康講座

利用者様の健康増進を目的に、平成29年1月より、デイ・ケアのプログラムに看護師による健康講座を取り入れています。

これまで、薬の飲み方や、血圧、入浴の仕方などをテーマに看護師が講座を開きました。

利用者様から質問が出たり、関心のある内容はメモを取ったり、みなさん意欲的に聞いていらっしゃいました。これからも定期的に講座を開催し、利用者様が元気に生活できるお手伝いができたらと考えています。



薬を飲み忘れたら、どうしたらいい？



濃い味付けが好きなんだけど...

体力測定

これまでデイ・ケアでは定期的に体力測定を行っていましたが、平成29年1月より、作業療法士が3ヶ月ごとに評価表を作成し、ご本人様とご家族様へ結果をお伝えしていくようにしました。

転倒予防等に役立てていただけたらと思います。



握力測定



片足立ち

体力測定結果表

実施日： 4 月
名前：すこやか 太郎 様

	前回	今回	比
握力 (kg)	右:26 左:26	右:23 左:27.5	→
備考			
片脚立位 (秒)	右:8.6 左:3.3	右:12.8 左:20.1	↑
備考			
5m歩行 (秒)	5.2	5.5	→
備考			

基準値 (平均)

	75~79歳	80~84歳	85歳~
握力 (kg)	26.1~29.0	23.1~27.0	23.1~25.0
片脚立位 (秒)	10~26	6~18	4~13
5m歩行 (秒)	4.1~3.1	4.6~3.5	5.1~3.9

【総評】

体力測定お疲れ様でした。今回、片足立ちの項目で大きく向上しています。足や腰まわりの筋力が向上し、転倒しにくい身体づくりが出来ています。確くなり、身体も動かしやすくなってくる時期です。無理せず、少しずつ身体を動かす機会を増やして体力の維持を目指していきましょう。次回は7月に行ないます。今回の結果を維持できるようにしましょう。

すこやかシルバー病院 デイケア
担当作業療法士

作業療法士のコメント付きです



トピックス

福井大学と連携して 認知症研究に取り組みます

認知症の専門病院である当院では、高度でこころ温まる医療サービスの提供を目指すとともに、認知症に関する介護教育、啓発活動や調査研究にも力を入れています。

その一環として、平成29年4月、福井大学医学部に、認知症研究を行う寄附講座（「認知症医学推進講座」）を設置しました。

当院が寄附者となって設置したこの講座の目的は、病院、診療科等の垣根を越えて総合的、専門的な認知症研究に取り組み、予防法、早期診断・治療等のさらなる解明、レベルアップを図るものです。

研究成果は、当院と福井大学医学部が共有し、地域医療や介護教育の現場で活用していく予定です。



外来医師診療体制（平成29年4月～）



	医師	伊藤 達彦	村田 憲治	福島 慎二	松永 晶子	水野 智之
月曜日	午前		再 診			
	午後		初 診			
火曜日	午前	初診・再診		初診・再診		
	午後	再 診		初診・再診		
水曜日	午前	再 診	初診・再診		初診・再診	
	午後	再 診	再 診			
木曜日	午前	再 診	再 診			初診・再診(隔週)
	午後	再 診	再 診			
金曜日	午前	再 診	初診			
	午後	再 診	再 診			

平成28年度 満足度調査の結果報告

皆様に満足していただける病院づくりを目指すため、患者様およびご家族の方を対象とした満足度調査を実施させていただきました。調査にご協力していただいた皆様におかれましては、大変貴重なご意見・ご要望をたくさんいただき、誠にありがとうございました。この調査結果を全職員が真摯に受け止め、今後皆様にご満足いただけるような病院づくりを目指し努力してまいります。

つきましては、下記のとおり調査結果をご報告させていただきます。

調査の概要

《調査目的》 患者様およびご家族の方へのサービス向上を目指すため満足度調査を行う

《調査方法》 対 象 者：福井県立すこやかシルバー病院に通院・入院中の患者様とご家族

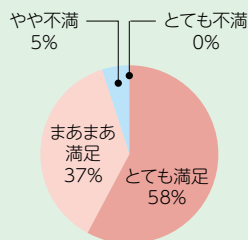
調査方法：当院で作成したアンケート用紙を対象者の方に手渡しで配布、
調査協力の得られた対象者から用紙を回収して項目ごとに分析

調査期間：平成28年11月1日～平成28年12月9日

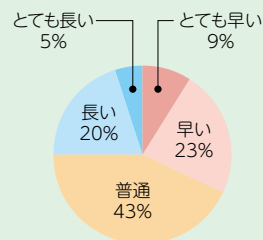
回 収 率：外来100%、デイケア71.4%、入院73.8%

★外来に関する調査

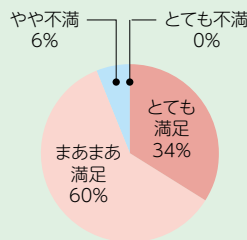
診察の満足度



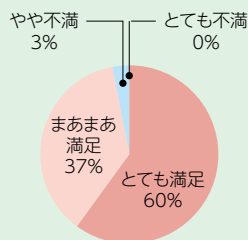
診察までの待ち時間



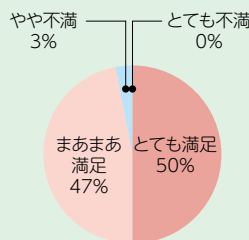
待合室の居心地



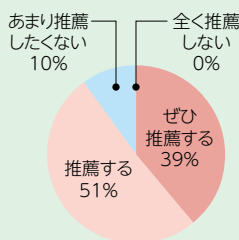
職員の言動や態度



病院内の清潔度

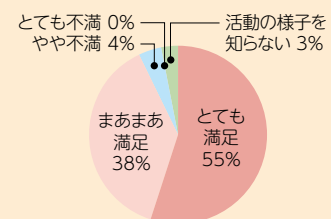


当院を他の方に紹介したいか

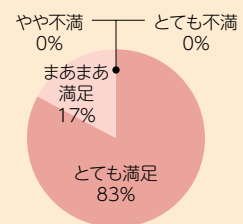


★デイケアに関する調査

活動内容

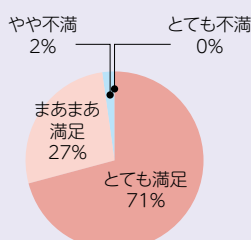


職員の言動や態度

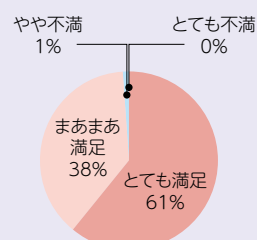


★入院に関する調査

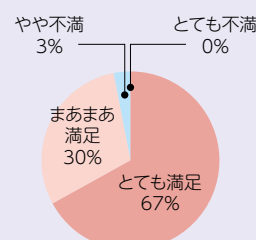
医師の説明



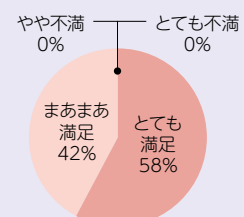
安心できる療養環境か



看護師・介護福祉士等の言動や態度



あなた(ご家族)が望んでいた治療を受けられているか



平成29年度 [6月～9月末] 福井県立すこやかシルバー病院研修案内

一般の方を対象にした研修 研修場所／福井県立すこやかシルバー病院 2階会議室

一般研修はお電話でお申込みできます。お名前（フルネーム、漢字）、連絡先、参加希望研修名をお伝えください。

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講師	定員
レビー小体型認知症の方の介護	6月6日(火)	13時30分～15時	●レビー小体型認知症の症状 ●介護のポイント	増田直代看護師長	50名
認知症の基礎知識と介護のポイント	6月9日(金)	13時30分～15時	●認知症の症状 ●認知症高齢者への介護のポイント	前川惣予看護師	50名
認知症の基礎知識	6月13日(火)	13時30分～15時	●認知症の原因疾患、症状、治療 ●認知症診断に必要な情報	村田憲治診療部長(医師)	50名
認知症を予防しよう！	6月14日(水)	13時30分～15時	●心も体も元気に、健康に	内藤明美作業療法士	50名
認知症に関する制度と相談窓口	9月1日(金)	13時30分～15時	●介護保険制度について ●困った時の相談窓口	谷口久良精神保健福祉士	50名
認知症の基礎知識と介護のポイント	9月5日(火)	13時30分～15時	●認知症の症状 ●認知症高齢者への介護のポイント	上山こず枝看護師	50名
認知症を予防しよう！	9月6日(水)	13時30分～15時	●心も体も元気に、健康に	高橋瑛美作業療法士	50名
認知症の方の食事、排泄援助	9月8日(金)	13時30分～15時	●食事摂取困難な状況と介護 ●排泄時の援助	辻真彰副看護師長	50名

ケア専門職の方を対象にした研修 研修場所／福井県立すこやかシルバー病院 2階会議室

専門職研修の申込方法は、当院ホームページ、介護教育のご案内をご参照のうえお申込みください。

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講師	定員
アルツハイマー型認知症の症状とケア	6月2日(金)	13時30分～16時40分	●アルツハイマー型認知症の症状とケア ●事例検討	河合明泰 認知症看護認定看護師	50名
認知症の基礎知識	6月16日(金)	13時30分～16時40分	●認知症の基礎知識、ケアの理解 ●事例検討	和田敏道 認知症看護認定看護師	50名
高齢者の排泄援助とスキンケア	6月20日(火)	13時30分～16時30分	●高齢者の排泄援助とスキンケア	福井県済生会病院 皮膚排泄ケア認定看護師 山口静氏	50名
			●認知症高齢者の排泄援助の実際	谷本千恵子介護福祉士	
高齢者の口腔ケア	6月23日(金)	14時～16時20分	●高齢者の口腔ケア	福井県歯科医師会歯科衛生士 宮本美紀子氏	50名
			●認知症高齢者の口腔ケアの実際	中谷正太郎介護福祉士	
高齢者の食事援助	6月27日(火)	13時30分～16時	●高齢者の食事援助のポイント	福井総合病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 片岡亜季子氏	50名
独居生活の認知症高齢者の援助	8月28日(月)	13時20分～16時20分	●認知症高齢者が独居生活を継続する上で必要な援助	兵庫医療大学看護学部助教 久保田真美氏	70名
中等度・重度認知症高齢者の自己決定の機会提供	9月7日(木)	13時20分～16時20分	●中等度・重度認知症高齢者の日常生活行動の自己決定を支える援助	県立広島大学保健福祉学部 助教 渡辺陽子氏	70名
認知症高齢者の収集に対する援助	9月11日(月)	13時20分～16時20分	●認知症高齢者の収集行動の意味、特徴、援助	県立広島大学保健福祉学部 助教 渡辺陽子氏	70名
精神症状への対応	9月12日(火)	14時～17時15分	●精神症状に対する具体的な対応	福井県立病院 精神看護専門看護師 山口達也氏	70名
レビー小体型認知症の症状とケア	9月15日(金)	13時30分～16時40分	●レビー小体型認知症の症状とケア ●事例検討	和田敏道 認知症看護認定看護師	50名
精神科薬物療法の知識	9月19日(火)	13時30分～15時10分	●向精神薬の作用、副作用	村田憲治診療部長(医師)	70名
認知症の方とのコミュニケーション	9月22日(金)	13時30分～15時20分	●認知症の方と接する際に必要なコミュニケーション方法について	金城大学看護学部 講師 久米真代氏	70名
介入者の表情が認知症高齢者に与える影響	9月29日(金)	13時20分～16時20分	●認知症の方に対し笑顔で関わることの重要性について	佛教大学保健医療技術学部 准教授 白井はる奈氏	70名

10月以降の研修については、リニューアルライフすこやか夏号に掲載予定です。

お問合せ／福井県立すこやかシルバー病院 介護教育部 TEL (0776) 98-2700